

保存期限					決裁指定	決行指定	月
大正 大正 大正 大正			大臣 知		件 名 第三師團留守第三師團駐野戦電信第九第十中队整理要領目録制定件 番 號 領 第二四號 起元廳(課)名 參謀本部 審案 筆記者		
了結 領受 出提 領受 號番			局長 主務 次官 政務 次官				
大正 大正 大正 大正			局長 主務 次官 政務 次官				
年 年 年 年			局長 主務 次官 政務 次官				
月 月 月 月			局長 主務 次官 政務 次官				
日 日 日 日			局長 主務 次官 政務 次官				
連 帶			高級 副官		參與官		
決定 行後 覽回			課長 主務		書記官		
局長			主務課員		主務副官 官房御用掛 納見		
長課			主務課員		主務副官 官房御用掛 納見		

政務次官 回付 決裁^前連帶 課名各局課

決行(決裁)後 同覽課名

(陸支機密)

參謀總長一圓各案

首題ノ件ニ付本月五日附作第三一八號第一
照會ノ趣異存ナシ

陸支機密第三二號

昭和三年七月七日

上奏案

第三師團留守第三師團並野戰電信第九隊

十隊整理要領制定方施行ノ件

第三師團留守第三師團並野戰電信第九隊第十中隊

整理要領制定ノ件 允裁相成矣ニ付テハ別紙

軍令案ノ通之カ施行ヲ命セラレ度謹テ奏ス

年 月 日

陸軍大臣

軍令案

朕第三師團、留守第三師團、拉野戰電信第九師
十中隊整理要領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名御璽

年月日

陸軍大臣

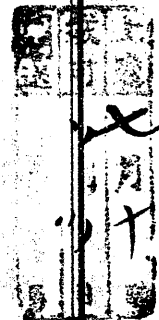
軍令陸甲第 號

軍令陸甲第七號

七月十日

(別紙ノ通)

右發布ト同時ニ



第三師團、留守第三師團、野戰電信第九、第十中
隊整理要領細則規定ノ件

關係陸軍諸部隊ノ件

第三師團、留守第三師團、野戰電信第九、第十中
隊整理要領細則別紙ノ通定ム

陸支機密第三三號

昭和四年七月廿日

軍令御裁ヲト同時

第三師團長ノ建議案(電報)

第三師團、留守第三師團、野戰電信第九、第十中隊
整理要領施行ヲ命セラルル

七月十日陸支機密第三三號

本電報受領セハ其ノ旨返電ス

昭和三年七月拾日

午後三時四十五分

陸軍運輸部長 (連案) (電報)

第三師團、留守第三師團、近野戦電信第九、第十中隊整理要領本日制定施行ヲ命セラルル輸送ニ関シテハ參謀總長ノ区處ヲ受ク

昭和三年七月拾日

副官ヲ留守第三師團參謀長ニ通牒案 (電報)

昭和三年七月拾日

第三師團、留守第三師團、近野戦電信第九、第十中隊整理要領本日制定施行ヲ命セラルル書類發送ス

陸文二一〇

昭和三年七月拾日

午後三時四十五分

軍事機密

至急

陸支機密受第

二〇

吉岡

參謀本部 作第ニ一八號第一

第三師團、留守第三師團並野戰電信第九第十

中隊整理要領同細則制定ノ件照會

昭和三年七月五日 參謀總長 鈴木 莊 六

陸軍大臣 白 川 義 則 殿

第三師團、留守第三師團並野戰電信第九第十中隊整理要領同細則

別冊ノ通制定（規定）致度異存ナクハ要領ニ在リテハ可仰允裁

細則ニ在リテハ令達方取計ハレ度



0762

陸軍

0763 上野 氏 日

裁
細
則

31

0763
上
君
日
時
更
通
牒
別
冊
別
送
ス

0764



第三師團留守第三師團並野戰
電信第九第十中隊整理要領

書架

第三師團留守第三師團並野戰電信第九

第十中隊整理要領

第一條 本要領ハ第三師團留守第三師團並野戰電信第

九第十中隊ノ整理ニ關スル事項ヲ定ム

第二條 本要領ニ依リ整理スルモノ左ノ如シ

其一 内地ニ歸還復員スル部隊

第三師團衛生隊

第三師團第二第三野戰病院

野戰電信第九中隊

其二 編制改正ヲ行フ部隊

野戰電信第十中隊

其三 久馬ノ整理ヲ行フ部隊

第三師團殘餘ノ部隊

留守第三師團

第三條 前條其一ノ部隊ハ歸還命令ニ依リ編成地歸着
 ノ上別ニ復員令ニ依ルコトナク逐次復員スルモノトス
 第四條 第二條其二ノ部隊ハ本要領受領ト共ニ別命ヲ
 待ツコトナク成ルヘク速ニ附表ノ如ク其ノ編制ヲ改
 正シ過剩人馬物件ヲ内地ニ還送スルモノトス
 前項要員ハ將校同相當官准士官下士ニ在リテハ現役
 者及豫備役者ヲ又兵卒ニ在リテハ現役及豫備役第一
 第二年次ノ者ヲ充ツルモノトス之カ爲其ノ不足人員
 ハ野戰電信第九中隊ノ者ヲ充用シ尚不足スルモノハ
 第五師團ヨリ現役者ヲ以テ整備スルモノトス
 第五條 第二條其三ノ部隊中第三師團各部隊ニ屬スル
 人馬ハ別命ヲ待ツコトナク左記各號ニ依リ成ルヘク

速ニ之ヲ整理シ其ノ人馬ハ特ニ陸軍大臣ノ定ムルモ
 ノ外當該部隊ノ缺員(數)トス 但シ野砲兵聯隊聯
 隊銃列全部及師團通信隊ノ一小隊ハ之ヲ缺除シ師團
 野戰病院ハ二分ノ一ヲ標準トシテ之ヲ殘置シ又各部隊
 大小行李ハ適宜之ヲ縮少スルモトス

一 後備役將校同相當官准士官下士及召集兵卒歸休及豫備
後第一第二
年次者
ヲ除ク並編成上不要人員ハ之ヲ内地ニ歸還セシム
 但シ引キ續キ派遣地勤務ヲ志願スル者ハ師團長

ニ於テ之ヲ殘置スルコトヲ得

二 各部隊人員整理ニ當リテハ要スレハ師團長ニ於

テ各部隊第二條其二其三
部隊ノ人等ムヲ通シ其ノ要員ヲ彼此融通ス

ルコトヲ得

三 前各號人員ノ整理ニ伴ヒ不要ニ屬スル馬匹及物

件ハ之ヲ還送ス

第六條 留守第三師團長ハ前條ニ準シ留守部隊ノ人馬

ヲ整理已ムコト得サレハ
中隊數ヲ減少スシ召集者ニ在リテハ其ノ召集ヲ解除

待命休職停職中
應召シタル者ヲ除ク
スルモノトス 但シ召集解除該當者ニシ

テ引キ續キ在隊ヲ志願スル者持ニ必要ナル者又教育

三箇月ニ滿タサル補充兵ニ在リテハ此限ニアラス

前各條ニ依ル還送整理人馬ニ關シテモ亦前項ニ準ス

第七條 本要領ニ依ル整理(整備)管理官ハ派遣地ニ在

リテハ第三師團長天津派遣ノモノニ在リテハ管理業務ノ一部ヲ支那駐屯軍司令官ニ委スルコトヲ得内地ニ

在リテハ留守第三師團長(第五師團長)トス

第八條 本要領實施ニ依リ編入換ヲ行ヒタル者ハ別ニ

辭令ヲ用フルコトナク新編入部隊ニ到着ノ時ヲ以テ

當該部隊ニ適用セラルルモノトス 但シ第五師團

ヨリ整備スル人員ニ關シテハ陸軍動員計畫令整備人員ニ關スル規定ニ依ルモノトス

第九條 派遣地ニ在ル部隊ノ整理(整備)人馬ハ青島出發(上陸)ノ時ヲ以テ原所管長官ノ隸下(指揮下)ヲ脱シ留守第三師團長(第三師團長)ノ隸下(指揮下)ニ入ルモノトス

第十條 第三師團長、留守第三師團長及第五師團長ハ整理(整備)完了セハ速ニ其ノ完結ヲ陸軍大臣、參謀總長ニ又將校同相當官職員表及人馬一覽表並各部隊編制ノ概要ヲ右同官ニ報告スルモノトス

第十一條 本要領實施ニ要スル輸送ハ參謀總長之ヲ掌ルモノトス

第十二條 第三師團ヨリ天津ニ派遣シアル部隊ノ本要領

實施ノ時期ニ關シテハ陸軍大臣參謀總長協議決定ス
 第十三條 陸軍大臣參謀總長ハ必要ニ應シ協議ノ上第三
 師團及留守第三師團ノ人馬ノ一部ヲ臨時交代セシメ
 又ハ内地(派遣地)ニ歸還(派遣)セシムルコトヲ得
 第十四條 本要領實施ニ關スル細部ノ事項ハ陸軍大臣參
 謀總長協議決定ス

附表

野 戰 電 信

階級	區分	人員	乘馬	轎馬
大尉	中(少)尉	中隊長	一	
特務曹長	曹長	給養掛、事務掛、檢査掛	三	
軍曹(班長)	上等兵	一		
上等兵		三		
一等(三等)卒		一、二、四		

第十中队編制表

考	備	合	計	馬	看 護 卒	看 護 長	計 子	輜 重 輸 卒	電 二 長	計
四、軍曹(伍長)ハ上等兵ヲ以テ又上等兵ハ二等卒ヲ以テ充ツルコトヲ得	<p>一、上等兵ノ内材料機ニ上等兵一〇等卒ノ内喇叭手ニ鍛工、木工、電機工手 少クモ各ニヲ含有ス</p> <p>二、兵卒(一)ハ自動車手トス</p> <p>三、軍曹(伍長)ノ内少クモ一〇上等兵一〇等卒ノ内少クモ五ニハ通信術修 業者莫ク他ハ是業修業者トス</p>	一九九	一 二	四	二	一	一	三	一	一 八 七
		四								四
			二					二		



第三師團留守第三師團並野戰電信
第九、第十中隊整理要領細則

昭和三年七月四日
參謀本部
百十部、内第貳壹部

百十部

第三師團留守第三師團竝野戰電信第九

第十中隊整理要領細則

第一條 本細則ハ第三師團留守第三師團竝野戰電信第

九第十中隊整理要領以下要領ト略稱ス實施ニ關スル細部ノ事項

ヲ規定スルモノトス

第二條 各部隊人員整理ノ結果特ニ補充ヲ要スル者ア

ルトキハ整理管理官ハ部隊兵科(部)階級別人員ヲ速ニ

陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第三條 第三師團長ハ要領第四條ニ依リ野戰電信第十

中隊要員トシテ必要ナル階級特業別人員ヲ速ニ第五

師團長ニ請求スルモノトス

第五師團長ハ前項請求ニ基キ電信第二聯隊ノ現役人

員ヲ以テ成ルルヘク速ニ之ヲ整備シ山東ニ派遣スルモ

ノトス

第四條 派遣地ニ在ル部隊ノ整理(整備)人馬ハ部隊毎ニ

假編成ヲ行ヒ適宜引率者ヲ附スルモノトス

第五條 要領第四第五條ニ依ル内地歸還人員ハ所屬部

隊ノ關係留守部隊ニ到着ノ上成ルヘク速ニ左ノ如ク

處置シ將校同相當官ニシテ原所屬部隊ニ復歸シタル

者及召集解除シタル者ノ職官氏名ヲ速ニ報告スルニ

ノトス

陸軍大臣

一 豫備役將校同相當官准士官下士及歸休豫備役第

一、第二年次ノ兵卒ハ留守部隊ノ要員ニ充用シ爾

餘ノ召集者(在營延期中ノ輸卒ヲ含ム)ハ召集ヲ解

除スルモノトス 但シ要員過剩ノ者及特別ノ事

情アル者ハ召集ヲ解除スルコトヲ得

留守部隊ノ人員整理ニ就テモ亦前項ニ準ス但シ
 衛戍病院衛生部員ハ大正十年省令第二〇號ニ依
 リ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ代用員ヲ以テ補足スル
 コトヲ得

要領第六條ニ依リ特ニ必要ナル者ヲ留守部隊ノ
 要員トナス場合ニ在リテハ陸軍大臣ノ認可ヲ受
 クルモノトス

ニ 現役者ハ原所屬部隊ニ復歸セシム

第六條 歸還部隊並歸還セシムヘキ人員ニ屬スル患者
 ニシテ引續キ療養ヲ要スル者ハ最寄衛生機關ニ殘置
 スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ將校同相當官准士
 官ハ其ノ傷病名所屬部隊並官氏名ヲ下士以下ニ在リ
 テハ傷病名並人員ヲ陸軍大臣ニ報告シ且留守第三師

○
 團長ニ通報スルモノトス

第七條 第三師團長ハ陸軍動員計畫令細則第四百八十八條第一項ニ依リ馬匹ノ整理ニ過剩馬匹中資格良好ナル乘馬引當四十頭、馱馬引當二十頭ヲ臺灣軍ニ交付スルモノトス

前項ノ交付馬匹ハ宇品ニ於テ檢疫終了後之ヲ臺灣軍ノ受領員ニ交付スルモノトス之ク為若干ノ豫備馬匹ヲ加ヘ其ノ馬數ヲ減ルヘク速ニ臺灣軍司令官ニ通報スルモノトス

第八條 第五師團長ハ前條交付馬匹ノ管理ニ於ケル一時繋畜ヲ擔任スルモノトス

第九條 留守第三師團長ハ還送整理馬匹中動員ノ際他部隊ニ充用シタル輜重兵大隊平時保管馬匹トキハ

輜重兵第三大隊、缺馬(五十頭)ニ充當スルコトヲ得

前項ニ依リ^缺馬數^{ニ充當}ヲ^{加シタル}馬數^ノ場^合ニ在リテハ整理實

施後速ニ之ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第十條 留守部隊ノ馬匹ハ當該部隊整理人員ニ伴フモ

ノヲ整理スルモノトス

現在定數外トシテ繫畜シアル馬匹ハ依然其ノ儘存置
スルモノトス

第十一條 留守第三師團長馬匹ヲ處理スルニ當リテハ陸

軍勤員計畫令細則ニ基キ成ルハク地方ノ便宜ヲ圖リ

努メテ徵發前ノ所在地方ニ於テ賣却スルモノトス

前項ノ輸送ニ必要ナル經費ニ就テハ軍馬管理規則第

五章ノ定額ヲ標準トス

第七條ニ依リ臺灣軍ニ交付スル馬匹ノ輸送ニ關シテ

モ亦前項ヲ適用ス

第十二條 第五師團ニ於テ整備スヘキ人員ニ要スル戦用諸品ハ陸軍動員計畫令細則第二百八十九條ニ依リ之ヲ整備スルモノトス

第十三條 整理ニ伴ヒ不要トナルヘキ兵器ハ總テ原文付部隊(補充隊)ニ還送スルモノトス但シ各種彈藥ハ其ノ儘之ヲ廣島陸軍兵器支廠ニ返納スルモノトス

前項兵器中特ニ派遣地ニ殘置スルヲ有利トスルモノハ第三師團司令部ニ之ヲ保管スルコトヲ得
兵器ニ係ル臨機調辦品ハ之ヲ派遣地最寄部隊ニ引繼使用スルモノトス

第十四條 第三師團長ハ整理後ニ於ケル各部隊兵器ノ定數、還送品竝師團司令部ニ保管スル兵器ノ品目員數ヲ



器械ト否ラサルモノトニ区分シ陸軍大臣ヨリ報告スル

モノトス

第十五條 附及セル刀剣ハ之ヲ滅スルヲ要セズ但シ平

時ノ使用ニ充ツヘキ刀剣ハ所管長官ニ於テ其ノ管理

兵器中附及セサルモノヲ以テ交換スルモノトス

第十六條 留守第三師團長(所管長官)ハ整理ニ基ク兵器ノ

處理ニ關シ陸軍動員計畫令細則第五百九條同第五百

十條ニ準シ整理完結後一箇月以内ニ調査報告スルモ

ノトス

陸軍大臣ヨリ報告スル

第十七條

歸還部隊(人馬)ハ戦用品定數表ニ定ムル戦用被服(戦用馬匹手入具)及豫備被服ノ定數ヲ著裝又ハ携行歸還スルモノトス但シ現ニ缺數ト爲リアルモノニ在リテハ之ヲ補足スルヲ要セス

第十八條

動員ニ際シ編成地ニ於テ交付セラレタル以外ノ破損品ハ左記各號ニ依リ處理スルモノトス

- 一 歸還人馬ニ相當スル被服及馬匹手入具ハ總テ廣嶋陸軍被服支廠ニ還送スルモノトス之ヲ爲該被服及馬匹手入具ハ成ルヘク新品又ハ未夕使用セサルモノヲ充當スルモノトス
- 二 第三師團長ハ爾後ノ需要ヲ顧慮シ前號ノ品種員數ヲ適宜増減スルコトヲ得
- 三 第三師團長ハ前ニ號ニ依リ還送スヘキモノノ品種



員數及送付區分ヲ陸軍被服本廠長ニ豫報シ且還送
實施後一箇月以内ニ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第十九條 第三師團長ハ被服及馬匹手入具中ノ臨機調
辨品ヲ適宜他部隊ニ使用セシムルコトヲ得

第二十條 留守第三師團長ハ歸還部隊(人馬)ノ著裝又ハ
携行セシ被服及馬匹手入具ニ所要ノ加修手入ヲ爲シ
新品ハ戰用準備品ノ復舊ニ充當シ古品ハ貯藏ヲ擔任
セシ部隊ニ保管セシムルモノトス但シ將來使用ノ途
ナキモノ又ハ廢品ト爲スヘキモノハ適宜賣却シ其代
金ヲ一般歳入ニ納付スルモノトス

第二十一條 陸軍動員計畫令細則第五百十五條第二項ノ
報告ハ整理完結後一箇月以内ニ提出スルモノトス

第二十二條 歸還部隊(人馬)ハ携帶糧秣及派遣ノ際携セル

行

炊具ヲ携行歸還シ其ノ他ノ糧秣及給養器具ハ派遣部隊爾後ノ使用ニ充ツルモノトス

第二十三條 留守第三師團長(所管長官)ハ還送糧秣及炊具ヲ陸軍動員計畫令細則第五百十七條ニ依リ整理シ戰用準備品ニ充當シ得サル糧秣ハ總テ留守部隊用ニ使用スルモノトス

前項ノ處理ニ関シテハ戰用充當品ト平時~~非~~使用品トニ品種數量ヲ區分セル調査表ヲ整理完結後一箇月以内ニ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第二十四條 陣中事務用品、天幕及雨覆ハ歸還部隊ニ於テ所要ノモノ又ハ戰地ニ於テ全ク必要ナキモノヲ除クノ外還送セサルモノトス

第二十五條 前條ニ依リ還送シタルモノハ留守第三師團

長ノ定ムル部隊ニ保管シ其ノ品目、員數並其程度區分ヲ整理完結後一箇月以内ニ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第二十六條 歸還部隊(人員)ニ對スル衛生材料ノ處理ハ陸軍動員計畫令細則第五百十九條及第五百二十條ニ依ルモノトス但シ臨時所要ニ應シ還送スヘキ病院醫務一組及之ニ伴フ衛生材料器械ヲ殘置スルコトヲ得又同第五百二十一條ノ報告ハ整理完結後一箇月以内トス

第二十七條 歸還部隊ハ獸醫材料及ノ定數及各馬携帶蹄鐵並歸還輸送間ニ要スル材料又歸還馬匹ニハ輸送間ニ要スル獸醫材料及蹄鐵ヲ携行セシムルモノトス前項以外ノモノハ第三師團司令部之ヲ保管スルモノトス

第二十八條 前條ニ依リ携行歸還セル獸醫材料及蹄鐵

ノ處置ハ陸軍動員計畫令細則第五百二十二條ニ依ル

モノトス

又同第五百二十三條ノ報告ハ整理完結後一箇月以内
トス

第二十九條 鐵道、船舶輸送ハ左記輸送處理官之ヲ處理

スルモノトス

内地鐵道 參謀本部出張員
船舶輸送 陸軍運輸部長

第三十條 第三、第五師團長ハ或ルハノ速ニ歸還部隊(歸

還(派遣)人馬材料)ニ關スル輸送請求表 様式ハ陣中要務

附記スルヲ輸送順序ヲ參謀總長及關係輸送處理官ニ

送付シ輸送實施ニ關シ歸還部隊(歸還(派遣)人馬材料)ヲシテ輸

送處理官ノ區處ヲ受ケシムルモノトス

第三十一條 輸送處理官ハ參謀總長ノ指示ニ基キ輸送

計畫表ヲ調製シ之ヲ輸送請求官又關係輸送處理官ニ

通報スルト同時ニ陸軍大臣、參謀總長ニ報告スルモノ

トス

第三十二條 輸送間_ニ搭ケル給養擔任區分左ノ如シ

内地 部隊長

船内 陸軍運輸部長

第三十三條 本輸送實施ノ為關係師團ニ於ケル業務ニ

関シテハ參謀總長別ニ之ヲ指示ス

第三十四條 輸送處理官ハ本輸送終了後其ノ實施概要

ヲ陸軍大臣、參謀總長ニ報告スルモノトス

第三十五條 歸還部隊人員ハ守品ニ於テ馬匹_ト在_リ

07

守品

ハ派遣地又康島ニ於テ檢疫ヲ行フモノトス

前項派遣地ニ於テ行フ檢疫ノ為第三師團長ハ整理ニ

依リ歸還スヘキ獸醫部員等ヲ之ニ充當スルコトヲ得

第三十六條 歸還スル者ニハ衛戍地又ハ編成地歸者ノ

翌日ヨリ召集解除當日迄陸軍戰時給與規則第十六條

ニ依ル増給ヲ給ス

前項ノ者ノ内地ノ陸地ニ於ケル旅籠料ハ陸軍旅費規

則第五表旅籠料三割増以内ニ於テ實費支辨トスルコ

トヲ得

第七條ニ依リ臺灣軍ニ交付スル馬匹ニ要スル馬糧運

搬費共ノ他一切ノ經費ハ臺灣上陸當日迄支那事件費

補足ノ支辨トス

第三十七條 要領第十條ニ依ル將校同相當官職員表整

理完結一覽表並人馬一覽表ハ陸軍動員計畫令細則附
録第八十六、第八十九、第九十六様式ニ依ルモノトス

附 則

一、整理ニ依ル戰用諸品ノ復舊實施ハ本細則ニ是ムルモ
ノ外別ニ之ヲ指示ス

0620

6820

軍事

勅諭

陸

陸

參謀本部 作第二一八號第一

陸軍第二〇四號第一

七月十日

3. 7. 11
18
軍事部

3. 7. 10
15
軍事部

第七、第八、第九、
第十、第十一、第十二、
第十三、第十四、第十五、
第十六、第十七、第十八、
第十九、第二十、
第二十一、第二十二、
第二十三、第二十四、
第二十五、第二十六、
第二十七、第二十八、
第二十九、第三十、
第三十一、第三十二、
第三十三、第三十四、
第三十五、第三十六、
第三十七、第三十八、
第三十九、第四十、
第四十一、第四十二、
第四十三、第四十四、
第四十五、第四十六、
第四十七、第四十八、
第四十九、第五十、
第五十一、第五十二、
第五十三、第五十四、
第五十五、第五十六、
第五十七、第五十八、
第五十九、第六十、
第六十一、第六十二、
第六十三、第六十四、
第六十五、第六十六、
第六十七、第六十八、
第六十九、第七十、
第七十一、第七十二、
第七十三、第七十四、
第七十五、第七十六、
第七十七、第七十八、
第七十九、第八十、
第八十一、第八十二、
第八十三、第八十四、
第八十五、第八十六、
第八十七、第八十八、
第八十九、第九十、
第九十一、第九十二、
第九十三、第九十四、
第九十五、第九十六、
第九十七、第九十八、
第九十九、第一百、
第一百一十、第一百一十一、
第一百一十二、第一百一十三、
第一百一十四、第一百一十五、
第一百一十六、第一百一十七、
第一百一十八、第一百一十九、
第一百二十、第一百二十一、
第一百二十二、第一百二十三、
第一百二十四、第一百二十五、
第一百二十六、第一百二十七、
第一百二十八、第一百二十九、
第一百三十、第一百三十一、
第一百三十二、第一百三十三、
第一百三十四、第一百三十五、
第一百三十六、第一百三十七、
第一百三十八、第一百三十九、
第一百四十、第一百四十一、
第一百四十二、第一百四十三、
第一百四十四、第一百四十五、
第一百四十六、第一百四十七、
第一百四十八、第一百四十九、
第一百五十、第一百五十一、
第一百五十二、第一百五十三、
第一百五十四、第一百五十五、
第一百五十六、第一百五十七、
第一百五十八、第一百五十九、
第一百六十、第一百六十一、
第一百六十二、第一百六十三、
第一百六十四、第一百六十五、
第一百六十六、第一百六十七、
第一百六十八、第一百六十九、
第一百七十、第一百七十一、
第一百七十二、第一百七十三、
第一百七十四、第一百七十五、
第一百七十六、第一百七十七、
第一百七十八、第一百七十九、
第一百八十、第一百八十一、
第一百八十二、第一百八十三、
第一百八十四、第一百八十五、
第一百八十六、第一百八十七、
第一百八十八、第一百八十九、
第一百九十、第一百九十一、
第一百九十二、第一百九十三、
第一百九十四、第一百九十五、
第一百九十六、第一百九十七、
第一百九十八、第一百九十九、
第二百

0620

參謀本部 作第二一八號第三

機密第二四

七月十日

備

第三師團、留守第三師團並野戰電信
第十中隊整理要領御裁可ノ件通牒

昭和三年七月九日 參謀總長 鈴木 莊

陸軍大臣 白川 義則 殿

首題ノ件別紙ノ通御裁可アラセラル

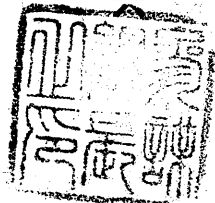
追テ御裁可書、用濟後返戻相成度申添フ

陸支機密第三四號

昭和三年七月拾七日

7.11 18

3.7.10 15



陸軍

T620

閱

後方セズ、

和義二四二

陸軍部
3.7.1
午前
官房

第一五

3.7.1

電報譯 七月二日午前午後

大 臣 宛 發信者 才三 仲田 長

三矢 二九七

七月十日午後九時四十分 陸支二一〇

号一電報 白文 飲才三 師團 留才

三師團 及 野 我 電 候 才九 才十 中 隊

整理要領 施行 規 則 今 才九 才十 中 隊

七月十日 陸 甲 才七 号 規 則 七月十日 陸

支 密 才三十三号 七月十日

陸 軍

2620

40

秋
生
各
理

次長同文

第二五二號

電報譯 七月十一日 午前午後 時時 三十分著

陸軍次官宛 發信者 第三師團參謀長

三參 二九九

一、師團ノ整理ニ伴ヒ山東部隊ヨリ

歸還スヘキモノハ人約五千七百

馬約千六百ノ見込ナリ

二、整理ハ七月十四日ヨリ十八日ニ一旦ル

間ニ逐次完結シ七月十五日以後

青島ヨリ出發シ得ルヲ定

留守第三師團、第五師團 濟

三
四

0794

19

整理、防、修理

陸軍次官宛

次長同文

七月二日

第三九號

電報譯

七月

廿二日

午前九時

廿八分

著

陸軍次官宛

發信者

第三師司令部

三〇五

一本十一日夕師團整理規定ヲ發令ニ

右隊其實實施ニ著手ス

二師團整理ハ明十二日ヲ整理第一日トシ

七月十九日ヲ以テ整理完了ノ豫定

其細部尤ノ如シ

第二日ニ

師團司令部、歩兵兩旅團司令部

第三日

歩兵第六隊

騎兵第三隊

野砲第六隊

師団司令部

第一、第四野隊

第四日

歩兵第六隊

第五日

歩兵第六隊

第七日

野砲隊

9620

電報譯

月 日 午前 午後 時

分 分 著 發

第 號

宛 發信者

第一日ニ
野實信九第十中保

4620



陸

高

二回 五月 七月十三日

第三〇號

電報譯

七月十三日 午前午後五時三十分著

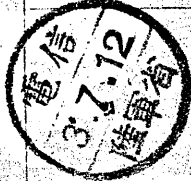
陸軍大臣宛 發信者 第五師團長

七月十日 軍令陸軍第七師團第四條二條
ル整備人多 十四日字品及十七日青島
著、豫定復文

陸軍



陸軍電信著信紙 8620

文	本	定指	受信氏名	局發	局著
	<p>ムヨニ</p> <p>同文</p> <p>セツキー〇ビ(クイト)セゾウダイロゼウニヨル(セコフシンジ)ロビウジナ</p> <p>ハツ一七ヒセイトウチヤクノヨテイアトフマ、五シオオ</p>	<p>事記</p> <p>ソウテウー</p>	<p>リクブンセウリクブンダイ</p>	<p>吉大八ヒロシマ六〇八ヲ〇五時三三分</p>	<p>三〇</p> <p>受信時分</p> <p>七時四十分</p> <p>技手</p> <p>著信番號</p> <p>〇〇〇〇</p>
				<p>日附印</p> 	

注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ロ」トアルハ午前「リ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

印刷

6640

表紙三四六

第三卷 號

電報譯

七月

十五日 午前午後

九時

一分 九分 十分

高坂副官宛

發信者第三師團參謀長

三參 三七

天津部隊整理ニ要スル整理要領同
如別ハ陸軍省ヨリ直接配布アリタシ
迄アリタシ

3.7.4
午前午後
發行

0080 紙達送報電用軍

受信手	信	受	所著	付	受	號番	所發	數字	種類	人 信 受			
午後	7時	15分		30時	10分	7月	11日	セイト	七二	内報	カリクケ	シキツ	ワカシ
ホ	ク	ク	ウ	コ	ニ	サ	コ	ニ					
コ	ヘ	セ	ク	ド	ウ	ニ	ニ						
ン	ツ			ス	ブ	サ	シ						
ア	ハ	ン	ウ	ン									
リ	イ	セ	サ	セ	ク	ニ							
タ	ク	ウ	イ	イ									
シ	ア	ヨ	ソ	リ	セ	ク							
ハ	リ	リ	ク	ヨ	イ								
ニ	ク	ク	ク	ウ	ク								
レ	シ	ヨ	リ	ニ									

著信	番號	事記	指定
短電	ニハ		

T080



副官より第三師團參謀長へ答電
未

昭和三年七月拾四日



三参、三一七答、

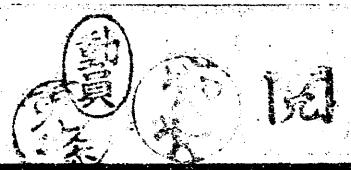
十日 桑 送 済

直接

七月十四日



2080



陸軍省

總長宛

電報譯

七月五日

午前午後

四時十分發著

第四三號



陸軍大臣宛

發信者

留守第三師團長

留守第三師團長

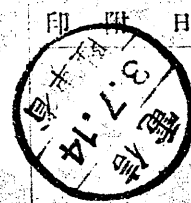
留守部隊整理人員ハ明日十五日朝食後召集ス

解除ス

陸軍

軍電信著信紙 0803

文	本	指	局發	局著
	シウヨカイジ ヨスミルアネ	ニカムヨニ	リクグンダイジン	四八
	ルサントウ三四〇、ルスブ	ニカムヨニ	大〇ナゴヤイツ	受信時分
	タイセイリジ	ニカムヨニ	ミテウ	四六
	ンインハメウ一五ヒチヨウシヨクゴ	ニカムヨニ	ラ〇四時〇八分	著信番號
	ゼウ	ニカムヨニ		〇〇〇三
		事記		技手
		ソウテウ一		〇〇〇三



注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ヨ」トアルハ午前「ブ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

4080



表巻二四九



東京短軍第一〇號



電報譯 七月 十五日 午前午後 一時三十分 發

次官宛 發信者 第三師團參謀長

三參三三五

七月十四日ヨリ青島埠頭ニ第三師團軍馬検査所ヲ開設同夜ヨリ

貴軍馬検査所實施

5080

紙達送報電用軍

受信手	受信	所著	付受	號番	所發	數字	種類	受信人
	知 時 分	月 日	時 分	月 日	七 四 九	七 七 九	友 報	リ カ ン 同 文
<p>三ノキアキサ シウシト一ニ オンヤヨダウ四サ コエヨオニヒン キリカンドヨ三 シキイバリ三 カセイセ五 ンツケニ一 ンツト七 ハトエダウツ</p>								著信 事記 指定
								<p>知 三 〇</p> <p>シ テ ウ 一</p> <p>4 3 ニ</p>
								<p>電信 3.7.15 陸軍省</p>

9080

宛
野

表巻二四
八〇

大臣 宛 發信者 第五師團長
野戰電信第十中隊整備要員ノ整備
十三日完了ス

電報譯 七月十四日 午前午後 五時一二分 著

第三八號

陸軍省
3.7.16
午前午後
官房往復

陸軍省
3.7.16
午後
郵局譯

陸軍

2080 紙 信 著 信 電 軍 陸

注 意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ヨ」トアルハ午前「フ」トアルハ午後ヲ示ス

文	本	定指	人信受氏名	局發	局著
	オオ	ムヨニ	リクグ ンセウ「リクグ ンダイジン	官 四 五 ヒロシマ 五六七 ラ〇ニ時一二分	四三 通過番號 受附時分 あゆ 分 技手 キ
	ヘヤアロ「ダイ ー〇チウタイ「セ ロフヨウホ「ノ 「セロフ「ニ 三ドカ「リヨウス、 五シ	事記 ソウテウー			印 附 日 9.7.14 陸軍省

陸軍省

9080

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

陸軍省

陸軍省

電報譯

七月五日午

午後二時

陸軍省

第

號

陸軍省宛 發信者 留守司令部
本朝豫定ノ通留守部隊ノ整理人員
ヲ解除セリ

陸軍省

二日

二

三月十六日

陸軍省
3.7.16
15

陸軍

陸軍電信著信紙 6080

注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「日」トアルハ午前「ノ」トアルハ午後ヲ示ス

著局	發局	受信者姓名	指定	本文
一 通過番號	官 四五	リク グ ン ダ イ ジ ン	ニ カ ム ヨ ニ	ホ ン テ ウ ヨ テ イ ノ ト ウ リ ス ブ タ イ ン セ イ リ ジ ン イ ン ヨ カ イ ジ ヨ セ リ ミ ル ア ネ
受信時分 午 三 分	ナ ゴ ヤ ニ 六 六	事記 ソウニク		
著信番號 一	ラ 〇 二 時 四 〇 分			
技手 マ				
日附附印				



陸軍省

0180



陸軍大臣宛

總長同文

電報譯

七月十六日午前九時五十分發

陸軍大臣宛

發信者 第三師團長

三參三四五

一山東ニ於テ各師團ハ昨日ヲ以テ野

戰電信第九第十中隊及第三野戰

病院ヲ除キ全部整理完結ス

二秋田河南武昌ノ三隻本十六日午前

七時ヨリ八時ノ間ニ無事出帆ス、在留民

ノ見送り熱誠ヲ極ム

留身第三師團済




第二號

陸軍電信著信紙 1180

注意

受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セス
 受付時刻ノ表示中「日」トアルハ午前「ノ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省

文	本	定指	受信氏名	局發	局著
	サンサン三四五、一、サントウニオケルシダ ンワサク一五ヒオモツテヤセンデ ンシン ダイ九ダイ一〇チウタイオヨビ、ダイニヤセンベ、ウインオノゾ キゼンブセ イリカンケツスニ、アキタ、カタン、ブ、セウノ三セキホン一六ヒゼンセジ、ヨリハジ ノカンニアブ、ジ、シエツホ、ンス、ザ、イリウミンノミオクリネツセイオキワム、一二 ル三、三シオオ	ムヨニ	リクブ ンダイ ジン	外和 一七〇 ゼイトウ 一六七 四	通過番號 六 受領時間 九時一分 技手 著信番號 外和 二
		事記			
		ソウテウ			
				印 附 日	
					

0812

閣

支那ニ四...

陸軍大臣宛

第四九

號

電報譯七

月廿五日

午前八時四十分著

陸軍大臣宛

發信者功五師團長

野戦電信第十中隊整備要員十四日午後

五時半品ヲ出帆ス



陸軍

陸軍電信著信紙 8180

文	本	定指	受信人姓名	局發	局著
	<p>ムヨニ (ヤアロ)ダイー〇チウタイ(セ)フヨウホ(一)四ヒゴゴ五ジウジナヲシユツ パンス、五シオオ</p>		<p>同文</p>	<p>吉 五ニキ ヒロシマ 六五〇 ラ〇六時四五分</p>	<p>五六 通過番號 受信時分 1時7分 技手 ワタ 著信時分 〇〇〇四</p>
		事記			
		ソウテウー			

注意
 受付當日受信セシモノハ月日ヲ記入セズ
 受付時刻ノ表示中「ヨ」トアルハ午前「レ」トアルハ午後ヲ示ス

陸軍省



0814

榮格

閱

二四號其四

野戰電信第十中隊整備要員整備完結

日教覽表該人員一覽表呈呈件報告

昭和三年七月十四日 第五師團長 收 達之

陸軍大臣 白川義則 殿

首題、件第三師團留守第三師團野戰電信第九第十中隊整理要員第十條及同細則第三十七條依り別紙通り報告ス

八曹課三保書 陸軍主 七月二十一日 勅買課

陸軍

7.18

8.7.18

0815

當部

第七

0815

當海の保養之友

高島謙

閱

0816

陸軍部 二 四 號 共 五

陸軍部 陸軍部 第一五號

野戰電信第十中隊整備員出發、件報告

昭和三年七月十四日 第五師團長 牧 達之

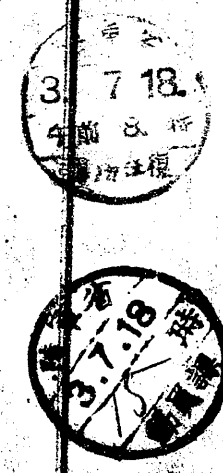
陸軍大臣 白川 義則殿

在山東第三師團野戰電信第十中隊整備員

下士以下八五名ハ七月十四日午後四時宇品、於長

城丸、乘船ニ午後五時青島ニ向ヒ出發セシメ付テ報告

追テ引率者トシテ將校一名派遣セシメ付テ申添フ



陸軍

0817

20

陸軍大臣
 陸軍大臣宛

電報譯

七月

七日

午前

午後

四時

分

分

分

分

第二七號

電報譯 七月七日 午前午後四時三十分 第二七號

發信者 乃之原王長

陸軍大臣宛

陸軍大臣宛 乃之原王長

陸軍大臣宛 乃之原王長

陸軍大臣宛

陸軍大臣宛



救

三六八

一七

第五九號

電報譯

七月二十日午前九時三十分發

陸軍 3.7.21 午前九時 官房

3.7.21 陸軍

大臣宛 發信者 第三師團長

三六八

山東に於て師團の整理は七月十九日
野戦電信西中隊の整理定結全
都定了し出張海軍、海軍勢
アリリ月二次船舶輸送時期ヲ待つ

陸軍

6180 紙 達 送 報 電 用 軍

受 信	所 著 付 受 送 報 電 用 軍	受 信
<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>
<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>
<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>
<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>	<p>カ シ ノ 分 日</p>

電 報 37.20

0280

軍用電報送達紙

著		所			發		人信受	
信受			付受		第			
午			午					
時	月		時	月				
分	日	所	分	日	號	所	報	

定指

著信番號
第

人信發

事記

1280

紙 達 送 報 電 用 軍

受信手	信 受	所著	付 受	職番	所發	數字	類種	人 信 受		
	午									
	時	月	時	月						
	分	日	分	日						
<p>報</p> <p>ルホ</p> <p>ルツ</p> <p>ニフ</p> <p>シト</p> <p>オシ</p> <p>オ</p> <p>ア</p> <p>カド</p> <p>キ</p>								番 著 流 信	事 記	指 定

2280

紙 達 送 報 電 用 單

所 著		所 發				人 信	
信受	信受				第		
午	午				月		
時	時				日		
分	分	日	所	字	分	日	號
							報
						定指	
						著信番號	第
						事記	

0823

22

秋

次長同文

第一四號

電報譯

七月十九日午前午後

五時二〇分著

次官宛 發信者 第三師團參謀長

三參三五八

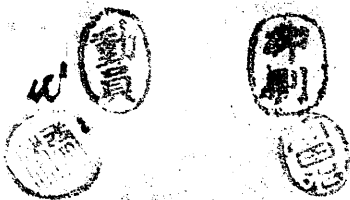
野電十中隊要員トヒテ第五師團ヨリ

派遣セラレタル下士以下八十三名十七日

青島到着 受領セリ

陸軍

0824



文部二五

陸軍大臣白川義則殿

第三師團並第九第十中隊整理規定提出件報告

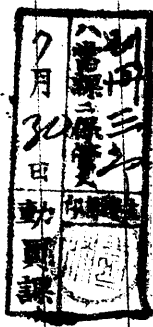
昭和參年七月拾八日

陸軍大臣白川義則殿

陸軍大臣白川義則殿

第三師團並第九第十中隊整理規定別紙目錄

ノ通り提出ス



陸軍

機密書類提出目録

昭和参年七月

第三師團司令部

年月日

番号

件

名

昭和三年
七月十一日

第七師團
第七隊

第三師團

野戦電信隊
第九第十中隊
整理規定

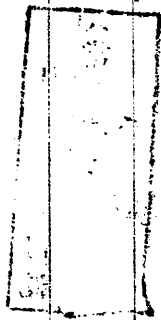
一里

自隊

第六隊

第七隊

第七隊



陸軍

秘 密

表 卷 二 四 號 共 二 〇

陸軍省
3.7.30
午前11時
官房住後

陸軍省
3.7.31

陸軍省
3.7.30

三師參第一二〇號

細備

大正十二年徵集兵卒ノ整理ニ伴ヒ特ニ第三師團
及野戰電信第九第十中隊整理規定ヲ追補訂
正スヘキ件命令

陸軍省
三月 日
勅買課

團下及隸下一般

一 豫備役兵卒中大正十二年徵集兵ハ新ニ師團整理人員
トシテ歸還セシムルモノトス

ニ 本整理ニ伴ヒ特ニ步砲兵隊ノ編制ニ就テ示スコト次ノ如シ

(1) 歩兵聯隊機關銃隊ノ馬數ハ第三師團並
野戰電信第九
第十中隊

整理規定(以下整理規定ト略称ス)ノ通ニシテ之カ為

人員ノ不足ハ一般兵卒中ヨリ充足スルモノトス

輕機關銃等ノ不足ス亦前項ニ準シ充足スルモノトス

(2) 整理規定第十五條ニ歸中
大隊段列ニテ彈藥

0827

軍ヲ豫ニ

0826

吉

秘

明

隊為
ノ

0827

軍予
深
一
乃
保
有
る

畜

車五輛ヲ『大隊段列ニテ彈藥車九輛ニ改ム

三本整理ニ伴フ各部隊融通人員差出交付區分冊表

第一ノ如シ

前項人員ハ山東部隊ニ在リテハ七月二十五日午後三時迄

天津部隊ニ在リテハ或ルヘク速ニ受領部隊ニ之ヲ交付

スルモノトス

四整理規定第二十六條一冊中輕重歩行用彈藥

次ニ大隊段列ノ榴霰彈彈藥車及ヲ挿入シ同條

二冊中『不要彈藥車』ヲ各大隊段列ノ榴霰彈彈

藥車ニ車輛ト改ム

五本整理業務ハ七月二十五日ヲ以テ完了スルモノトス

六本整理ニ依リ歸還人(將校、下士)馬車車輛數及荷物

概數ヲ二十四日正午迄一師團司令部ニ到着スル如ク

報告スルモノトス

七、各部隊長ハ歸還者連名簿、融通者連名簿、歸還馬匹連名簿、各追補及料校同相當官職員表ノ訂正(加除ノ位置ヲ明記スル)ヲ七月二十五日夕迄ニ師團長ニ提出スルモノトス

八、整理規定第五十條ニ依ル人馬整理一覽表及部隊編成表ハ本整理ニ伴ヒ改正ヲ加ヘ七月二十八日迄ニ提出スルモノトス

昭和三年七月二十三日

第三師團長 安満 欽一

附表第一

各部隊融通人員差出區分表

考 備	受領部隊		差出部隊		歩兵第三十四師隊	工兵第三大隊	師團通信隊	第一野戦病院	第四野戦病院	計
	歩	六	歩	六						
一、通ハ通信中ハ喇ハ喇ハキヲ示シ共ニ一(三)等キトス 二、着ハ着葺キヲ示シ第一野戦病院ヨリ他ニ轉出スヘキ元 ノハ歸還豫定人員中ヨリ差出スエノトス							喇通			九
							通ハ			八
							通ハ			八
							看一	看一		三
									看一 二	一 四
										四 二
										計
										一 六 一

1831

40

秘

總長同文

電報譯

七月九日午前八時四十分發

陸軍大臣宛

發信者

第三師團長

第一七號

奏報
二七
二四
二二
水澤

陸軍大臣宛
三參四七二
從來提出セシ整理完結ノ報告並
最近整理ノ結果ヲ概綜合シ改メテ
左ノ如ク報告ス
師團主力ハ七月二十五日ヲ以テ天津派
遣部隊ノ整理ハ二十八日ヲ以テ完結
ス

綜合シ改メテ

勅諭
御
係

表
二四
二二

留守
三編
參動第四二號

留守部隊人員整理ニ關スル件

昭和二年八月一日 留守第三師團長曾田孝一郎

陸軍大臣白川義則殿

留守部隊要員タル未教育補充兵及看護卒

補充要員ハ八月九日召集ヲ解除スルコトニ

定メタルニ付報告ス

陸軍
3.8.4
中野台
事務課

3.3.4
留守
事務課

留守
第三師團
事務課

陸
軍

0833

科

教書二回二三

送長白文

陸軍省
8.9.11
午前9時
官房主任

第一〇號

電報譯

八月十日午前後二時十分發

大臣宛

發信者 番字分三師團長

省
8.11
3.15

留三師四二五

軍衛陸甲第三号要求第三師團衛生

隊、第三師團牙三牙三野我病院、野我

電信第九中隊、復員及番守牙三師

團諸部隊(牙三師團編成改正及整理部

隊ヲ含む)、整理完結ス、八月十日當

番第三師團長

3. 8. 17
19

陸軍

0834

暗号石下紙

生教部新書



0834

暗号原紙
山崎長生

0833

参劾二四
八月十日

留守
三師 参動第四三三號

韜重兵大隊保管馬匹整理ニ關スル

件報告

昭和三年八月十日

留守第三師團長曾田孝一郎

陸軍大臣白川義則殿

第三師團留守第三師團並野戰電信第

九第十中隊整理要領細則第九條ニ依ル

首題ノ件尤記ノ通り整理ヲ了セシニ付

報告ス

尤記

裏

陸軍省
3.8.14
5.3

565
0

0836

區	介	頭數
選送馬匹中他部隊ニ充用シタル輜重兵大隊保管馬		三二
右保管馬中賣却整理馬		八
整理ノ結果輜重兵大隊ニ編入セシ保管馬		二四
整理實施後ニ於ケル輜重兵大隊ノ歿馬		二六

0837

代 審判 内閣

小村

庚第一三九號

八月二日

陸軍第二四號其六

省 22 18 3 18 3 18 3 18

3. 8. 2 / 13 領

第三師團留守第三師團並野戰電信第九第十中隊
整理要領及同細則ニ依ル整理後ニ於ケル兵器ニ
関スル件報告

昭和參年八月拾日

第三師團長安滿欽

陸軍大臣白川義則殿

昭和三年七月十日軍令陸甲第七號及陸支機密
第三三號第十四条ニ依ル首題ノ件別冊通リ報

告

九日廿七日 統 砲 隊

九月十九日

陸軍

支隊表ニ四頁其二八

度第二一五號

第三師團留守第三師團並野戰電信第九

第十中隊整理要領及同細則ニ依ル整理後券

ケル兵器ニ関スル件追加報告

昭和三年十月十日

第三師團司令部

陸軍省御中

昭和三年七月十日軍令陸甲第七號及陸支機密第三三號
第十四條ニ依ル首題ノ件別冊ノ通り追加報告ス

当課係別冊
十月九日
銃砲課

十月十一日

陸軍省
3.10.19
午前9時
電務往復

陸軍省
3.10.19
13
銃砲課

3.10.26

陸軍

0839

義者二日

三師團留守隊第一七六號

原隊(職)復歸並召集解除者ノ件報告

昭和參年三月拾貳日

第三師團留守隊司令官島

陸軍大臣白川義則殿

山東派遣部隊及關係留守部隊整理要領細則第十二條ニ依リ原隊(職)復歸者並召集解除者名簿別紙ノ通報告ス

別紙

三五

陸軍省 3.12.21 軍事課

陸軍省 3.12.17 職員課

陸軍省 3.12.26

陸軍省 3.12.18 第4 課